

専用AMLアナリティクスで先に進む

機械学習(ML)をAMLにもたらす

ルールベースのロジックや人間主導の分析は、マネーロンダリングを識別し、阻止するには不十分です。犯罪行為の識別には、FIで継続的にAMLシステムを最適化し、AIで強化された洞察的なアナリティクス、つまり継続的な正確性、範囲、効率上の課題に対応し、組織が真に疑わしいものに焦点を当てることができるようにするアナリティクスで、絶えず変化するリスクに迅速に対応する必要があります。



「新しい脅威にのみ対応するAML/CFT体制では不十分です。いつもどおりの脅威でも経済的な革新や新テクノロジーで強化されている場合もあります。」 – Him Das, FinCEN ディレクター代理⁽¹⁾

AMLアナリティクス・ツールボックス

すべてのAIツールがすべての目的に適しているわけではありません。既存のビジネス課題と目標に取り組む有形かつ実証済でスケーラブルなソリューションを重視する金融サービス機関が、最良の投資収益率(ROI)を得ます。

理想的なAML AIツールボックスには以下が含まれます:



ID解決



ネットワーク分析



高度なセグメント化



ルールの自動調整



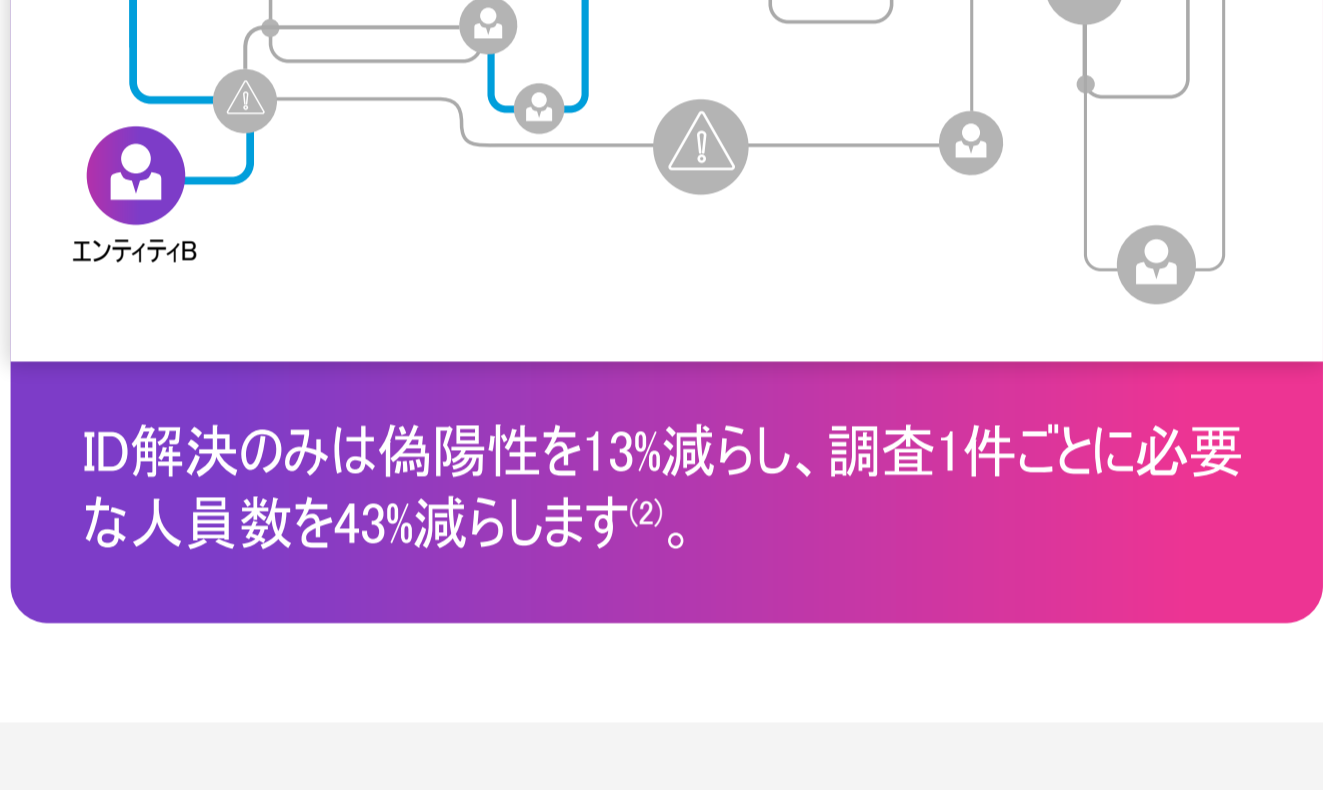
異常検出



予測スコアリング

ツールキット 1 ID解決とネットワーク分析

ID解決とネットワーク分析は、統合エンティティ記録、隠れたまたは不明瞭データ識別および関係ネットワークリスク評価を通してまたはAMLモニタリング、検出、調査の精度を高めることで、効果的な結果を最大化します。



ID解決のみは偽陽性を13%減らし、調査1件ごとに必要な人員数を43%減らします⁽²⁾。

ツールキット 2 高度なセグメント化と

高度なセグメント化とモデルの自動最適化は、特化された監視/非監視機械学習ドリブンの行動分析によりノイズを削減し、疑わしい活動の検出精度を高めます。



インテリジェントセグメント化とモデル最適化により、金融サービス機関(FSO)はアラート量を60%以上減らし、フル検証とシミュレーションを含む調整サイクルを2時間以内に完了できます

ツールキット 3 異常検出

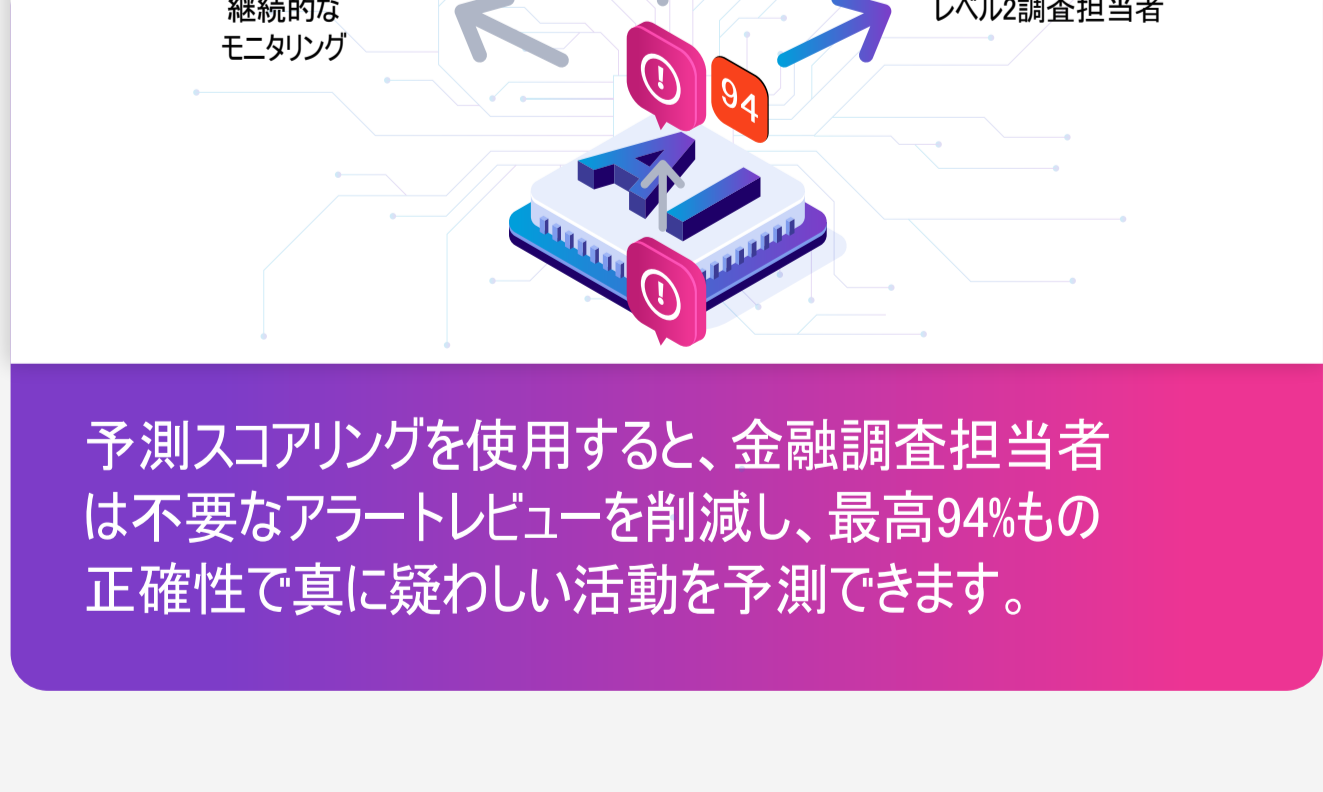
異常検出により、FIは未知のリスクを識別して軽減し、継続的なリスクモニタリングと検出の範囲を拡大できます。



クラスタリングやその他のアナリティクスツールは、ルールベースのアプローチでは見逃されるパターンや異常を検出できます⁽³⁾。

ツールキット 4 予測スコアリング

金融サービス機関(FSO)は、AI使用のアラートスコアリングおよびルーティングにより、アラート量を減らし、真に疑わしいものに焦点を当てることが出来ます。予測スコアリングは申請する必要がなさそうなアラートを休止状態にし、疑わしい活動を正確に指摘するハイリスクなレビューに注意を集中させて先進的なリスク軽減ができるようにします。



予測スコアリングを使用すると、金融調査担当者は不要なアラートレビューを削減し、最高94%の正確性で真に疑わしい活動を予測できます。

実証済みの専用AMLアナリティクスがNICE Actimize

デモをリクエスト >>

⁽¹⁾ Prepared Remarks of FinCEN Acting Director Him Das, Delivered Virtually at the American Bankers Association/ American Bar Association Financial Crimes Enforcement Conference | FinCEN.gov. (2022, January 13). Retrieved from <https://www.fincen.gov/news/speeches/prepared-remarks-fincen-acting-director-him-das-delivered-virtually-american-bankers>
⁽²⁾ Fearnley, B., & Marden, M. (2017, August). The Business Value of Entity Resolution Solutions
⁽³⁾ Improving Outcomes with Entity-Centric AML. Celent Whitepaper (2022). Retrieved from https://info.nice.com/AML_ContentLP_AML-Celent-WhitePaper.html